

平成26年 3月31日

株主のみなさまへ

福島県南会津郡只見町大字榎戸字二本柳1458-1
たもかく株式会社 代表取締役 吉津耕一

第27回定時株主総会招集ご通知

株主のみな様、いつもご支援いただきありがとうございます。当社第27回第26期の定時株主総会を下記の通り開催しますのでご出席下さいますようお願いいたします。

当日来れない方は、お手数ですがこの資料に記載された内容を参考に、同封のハガキの議決権行使書兼出欠確認票を利用いただき記名押印の上、総会前日までに届くようにご返送をお願いします。

会場準備の都合上、同封のハガキ（兼用）で総会への御出席又は御欠席をお知らせ下さい。

記

- 日時 平成26年4月26日 土曜日
午後3時00分より
- 場所 只見町大字只見字新屋敷下2508-8
只見保養センター ひとつぶろまち湯内個室会議場 0241-82-2393
- 会議の目的事項
報告事項 平成26年1月期の営業報告 会計書類の説明
第1号議案 1.損失金処理案 全額を翌期に繰り越すものとする
注単年度では利益が計上されていますが、前年度からの繰越欠損金があります

<営業報告書>

2014年1月期は、原発事故や水害の影響による新規のお客さんの減少に歯止めがかかり、事故直後とは異なり、新しいお客様が只見での田舎暮らしや森で山菜採りやキノコ狩りをして遊ぶことについての新しいお客様からの問い合わせが少し回復する傾向が見られました。しかし実際の契約には慎重で、まだ回復傾向が持続するのかどうか確信が持てない、弱い回復にとどまりました。

長浜地区に古くから移住されているお客様から、山野草の植栽やストーブのマキを間伐するための雑木林の購入を依頼され、この要望に積極的にお応えして、まとまった自社所有地を購入していただきました。一部は地元農家から購入して転売しました。また一部はみんなの森協同組合が売却の仲介を行いました。創業以来、売却する山林はみんなの森協同組合が田舎暮らし希望者の山荘を建築する用途が、20年分の管理料の前受と当社の所有管理している山林の利用権を組み合わせた1反の森とらすと、20年分管理料込み1坪1750円で少額で気軽に森の所有者に慣れる一坪の森とらすとでの販売を原則として販売してきました。遠方の所有者による管理されない山林が出来るのを避けるためでしたが、只見町内に移住したり山荘を所有して利用している人や、ここで生まれ育ったり、長期間住んだり遊びに来続けているお客様を対象に、限って、利用しやすい道路沿いの山林などを公共事業での買取価格に準じた価格で長浜地区だけでなく、酒田、坂田、黒谷、叶津、蒲生などでも所有している事業用山林の売却に取り組む予定です。

当期株式の募集と移動状況について

2013年度は1株8万円で50株の自社株式売り出しにより、新しい株主を募集しましたが、新規の株主1名から1株と、株主の方からの申し込み25株の合計26株の応募がありました。この株式売り出しにより取得した資金208万円で、長浜地区と黒谷地区、の現在の入会地に隣接または近接している山林を取得したほか、新たに小林地区の山林を取得しました。小林地区の山林の取得はみんなの森協同組合が売却の仲介を依頼された持ち主から依頼されて、将来の交換や売却の目的で購入したもので、入会地としての利用を計画しているものではありません。

また、今期は前期から引き続いての譲渡希望も含め、45名の株主から345株、希望譲渡価格1株28333円から85000円で総額14867600円平均価格43094円の株式譲渡希望がありました。これに対し、1名の株主が1名の株主から1株を譲り受け、新規に株主になることを希望された方が2名の株主から2.66株を譲り受けました。友人・知人・家族間の譲り受けにより新株主となった方が、2名2.1株、名義の移動に伴う期末の株主総数は616名発行済み株式総数6642株、前年度からの株主の増加は2名でした。

入会地の状況

当社は都会のお客様や株主の皆様は、ブナ、ナラ、クリ、トチ、ホオなど、落葉広葉樹の雑木林で、山菜採りやキノコ狩り、木の実拾いや散策をして楽しんでもらうという事業目的で営業を続けてきましたが、2014年1月期も原発事故の風評被害などの影響により入会地を利用するお客様は極端に減少したまま回復しませんでした。毎年秋に実施していたイベント「きのこ山」も申込者1名だったため、昨年に続き、中止せざるを得ませんでした。

長浜入会地の栗林の中に、間伐作業を依頼している只見町森林組合が作業道を整備してくれました。間伐した丸太の運び出しが楽にでき、道路以外の場所に作業用の車両や運搬車が入り込まず、カタクリや山菜が保全されやすくなることを見込んでいます。

2014年1月期は株式売出しにより取得した資金のほか、山林の交換などの新しい手法も取り入れて、長浜地区で約71000平米分の共有山林の持分を取得しました。現在は一時的に落ち込んでいる利用者が回復した時に入会地の利便性が格段に向上しているようにしていき予定です。長浜、布沢、小林地区、黒谷地区では今期に販売した土地の面積にほぼ見合う販売用事業用地を新規に取得しました。

たもかく本の街の状況について

たもかく本の街の事業はカルチュアコンビニエンスクラブの武雄市図書館の運営受託を記念して2013年4月に発行された書籍「図書館が街を創る」の中でカラー6ページの記事や、東日本旅客鉄道が株式会社が熟年の会員向けに発行している「大人の休日Clubミドル」のカラー1ページの連載記事2013年7月号「切り拓く人へのインタビュー」などでも紹介されました。ほぼ毎日お客様からの問い合わせが続いているなど、注目度の高い事業ですが、遠方からの来客や書籍の売上は長期にわたって低迷しています。アマゾンでのネット通販などにも力を入れていますが、今期中に売上や利益に結びつくように大きな成果は見られませんでした。

ここ10年ほどの間は、冬は来客の減少と除雪コストの問題から、雪が消えるまで倉庫を閉鎖し本の店のみを開店している状態でしたが、みんなの森協同組合が所有する進入路のコンクリート舗装を行い、たもかく株式会社が所有している地下水を融雪用に散水する工事を行いました。これにより、冬の間も事務所とコミたん館、花屋さんと元ビール工場の賃貸建物に入りやすくなりました。また機械での除雪を外部に依頼するのと比較して、除雪費用が格段に安くなりました。春のフルオープンも早めることができそうです。2014年度に進入路の舗装と消雪設備の延長工事を予定しています。

今後対処すべき課題と長期展望について

2014年1月期は原発事故による売上減少に対する対策と、当面の資金繰りの対策として源流の森山荘の土地建物を、みんなの森協同組合の仲介で売却または定期借家権での賃貸することに取り組みましたが、具体的な成約には結びつきませんでした。

今後も交換や入会地の隣接地の購入を続けてさらに使いやすい森づくりを進めて、新しい森林の活用の実現を図っていきます。また、一坪の森とらすとをアマゾンや楽天のネット通販サイトで購入できるしくみづくりに引き続き取り組んでいます。

当社は創業以来、株主を継続的なお客様として事業を展開する方針としていて、株主向けの情報発信にも力を入れてきました。この方針は今後も継続発展させていく予定ですが、印刷媒体を郵送するのは費用がかかるのに比較して効果が現れていないので、ホームページやメールマガジン、ほぼ日刊のヤフーブログ「南会津の森から」Facebookのニュースフィールドなど費用がかからず関心のある人がいつでもすぐに見れるネット媒体に全面的に移行しました。一方で印刷媒体は1回の発行部数を3000分に増やし、道の駅や物産販売所、宿泊施設や観光案内所など配布施設を増やしています。今期はみんなの森協同組合の仲介した二軒在家の中古建物を只見町観光まちづくり協会で配布していた「たもかく通信」を読まれた方に購入していただきました。たもかく株式会社ではこの取引に伴う山林の売買や建物の清掃片付け除雪作業などの業務を行う予定です。今後も効果のある情報発信に力を入れていきます。

事業環境は大変厳しい状態が続いて来ましたが、保有している膨大な山林資産を活かせるチャンスを見逃さず、積極的に取り組んでいきます。

以上ご報告します。ご意見ご提案をよろしくお願いします。

会社の概況

(1)主な事業

森を山菜採りやキノコ狩りをするリゾート場として提供すること、本と森の交換による本の街づくりを主力事業とし、以下の商品の販売などを行っています。

○一反の森とらすと/土地所有権付き緑のオーナー制度

一坪の森とらすと / 1坪からの森の販売

○本と森の交換事業及び本の販売 それにともなう本の街づくりの推進

○主として首都圏のお客様や株主の蔵書保管サービス

○株主や会員の利用できる入会林の拡大 整備

○山林の売買、管理

(2)営業所

事務所 福島県南会津郡只見町大字楢戸字二本柳1458-1

本のお店 福島県南会津郡只見町大字楢戸字椿61

(3)大株主

